



# 浜松市要介護度改善評価事業 取組み事例報告



遠州鉄道株式会社  
ラクラス上島デイサービス



1. ラクラス上島の紹介
2. 対象者概要
3. 取組み報告
4. まとめ

# 1. ラクラスの紹介

デイサービス  
16事業所

ショートステイ  
4事業所

介護付き有料老人ホーム  
5事業所

ラクラスは2009年の開業以来、すべての人の『心ゆたかに楽しく暮らす』をお手伝いしますという基本理念のもと、デイサービス・ショートステイ・介護付有料老人ホームを運営しています。

## デイサービス一覧



ラクラス上島



# 1. ラクラス上島の紹介

ラクラス上島機能訓練センター  
2021年開設



玄関や外出先を  
想定した階段訓練



畳生活の方の  
床上動作訓練

充実した設備により、  
ご自宅の生活をイメージ  
した具体的な機能訓練が可能



自宅での役割として  
調理を訓練

# 1. ラクラス上島の紹介

## 充実した機能訓練体制

- **理学療法士…1名**  
基本動作に対して積極的に介入  
主に歩行や段差昇降訓練を実施
- **作業療法士…1名**  
ADL、IADLを評価し訓練を立案  
新しい手段や道具の導入を提案
- **柔道整復師…2名**  
筋・関節の構造に精通しており、  
痛みのケアや運動方法を提案

◆ 多職種の協働により多角的な支援が可能

## DX導入(歩行解析アプリ:トルト)

※2022年11月導入



歩行動画を撮影するだけでAIによる歩行分析

- ◆ 視覚的にわかりやすい評価でご本人の意欲が向上
- ◆ より適切な訓練の選定が可能になり、訓練効果が期待される

## 2. 対象者概要

氏名	S様(74歳・女性)
介護度	要介護4
通所頻度	週2回
既往歴	2021.10月 アテローム血栓性脳梗塞発症 左片麻痺 軽度半側空間無視有
本人状況	2021.10月 聖隷三方原病院入院 2021.11月 浜松リハビリテーション病院入院 2021.11月 介護認定(要介護4) 2022.3月 ラクラス上島デイサービス利用開始
生活状況	・独居(ADL入浴以外自立) ・調理は温める程度 ・杖を使用して歩きながら掃除を行う

お料理がお好きだったこともあり、ご本人と相談のうえ、下記目標を掲げました

取組目標…お孫さんに「ハンバーグ」を作ってあげたい

### 3. 取組み報告

ご本人の希望を伺い、ご家族からも「調理をしたい気持ちを尊重し  
応援していく」という意向から調理動作習得に向けて訓練を開始。

調理動作習得のために



玉ねぎの皮をむく様子



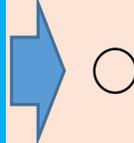
お皿洗いをする様子

# 3. 取組み報告

## 調理動作の結果

Lawtonの手段的日常生活動作スケールの「食事の支度」項目を抜き出し、段階ごとの評価を行った

【2022年6月時点】

食事の支度			9月 目標
内容	3月時点	6月時点	
自分で考えてきちんと食事の支度をする事ができる	×	× 	
材料が用意されれば適切な食事の支度をする事ができる	×	○	○
支度された食事を温めることはできる、あるいは食事を支度することはできるが、きちんとした食事をいつも作ることはできない	○	○	○

カット野菜があれば焼きそばを作れるようになりました

9月にはハンバーグが作れるように目標期日を定めました

順調に訓練を続けていた中…

2022.6月 **症候性てんかん発作** ⇒ 1ヶ月間の入院

てんかんの後遺症で**歩行能力が低下**したため、  
退院後(2022.8月～)は娘様宅で同居することに。

生活環境の変化	キッチンが2階にあるため、調理をするには2階に上がらなければならない
ご本人の現状	階段を上り下りするまでの改善は見込めそうにない

自宅での調理の実施は困難になったため、目標変更が余儀なくされた

「同居」になったため、ご本人の**家族の役に立ちたい**思いを受け

**「自室の掃除をすること」**を新たな目標に

# 3. 取組み報告 【新たな訓練内容】

掃除を行うことができるよう

①歩行の安定性向上を目標とした訓練

②実際の動作訓練

自転車こぎ訓練



歩行訓練



マシントレーニング



掃除動作の練習



### 3. 取組み報告 【訓練結果】

てんかん発症後

項目	内容	2022.5	2022.8	2022.9
		測定結果	測定結果	測定結果
①握力	筋力の状況評価	16.3 kg	15.0 kg	18.7 kg
②チェアスタンディング	下肢筋力の安定性を確認	9回	7回	9回
③3m間往復歩行	歩行の安定性を確認	46.9 秒	66.1 秒	56.2 秒
④座位足開閉テスト	可動域や持久力を確認	49回	49回	52回
⑤開眼片足立ち	姿勢の安定性やバランスを確認	0秒	0秒	0秒

※③の数値は低い方がよい

数値の改善がみられ、

2022年11月 要介護4⇒3へ下がりました！

# 3. 取組み報告【トルトを活用した歩行訓練を開始】

【トルト】スマホで歩行動画を「撮る」だけで  
AIによる歩行分析が可能



## トルト評価結果 (最大点数5)

歩行速度	1
歩行リズム	1
ふらつき	3
左右差	5

## 訓練士の評価

- ・麻痺側下肢への荷重不十分
- ・非麻痺側が前へ振り出せない

- ・歩幅の狭小
- ・スピードの遅延

## 訓練内容への反映

荷重訓練・バランス訓練を取り入れ、より安定した歩行の獲得を目指しています

- ・AIによる客観的分析で、訓練の質が向上しました



## 4. まとめ

### ■本事例のまとめ

- ・健康状態と生活環境の変化から、目標を調理から自室の掃除へと変化せざるを得なかった。
- ・状態変化に際し、身体機能の適切な評価とご本人のお気持ちに訓練士が寄り添ったことで、ご本人が新しい目標を持つことができ訓練を継続できた。
- ・具体的な目標を設定したことで常に意欲的に訓練に取り組むことができ、**介護度が下がった(要介護4⇒3)**と考える。

### ■今後の方針

- ・対象者の生活状況やお気持ち、QOLを重視した目標設定を継続する。
- ・訓練の質の向上の一助として、対象者に合わせてDXを活用した取組みを推進していく。